

「たすけあい」が生まる、 小さな幸せ。



NPO法人
次世代の子カラFUKUOKA
2020年度 活動報告書

御礼あいさつ

毎年続けてきた国際交流プログラム「次世代の子カラ旅」も…、福岡の未来課題を考える「小学生市長の次世代の子カラ教室」も…、残念ながらコロナ禍により開催ができませんでした。

2020年度は支援活動に注力する1年となりました。この1年間の取組みを「活動報告」にまとめましたので、お読みいただけますと幸いです。NPOとして、活動9年目に入りました。この様に活動を続けられますのも、応援企業皆さまのおかげです。毎年のご支援、本当にありがとうございます。

この8年間、「子どもたちの将来の活躍を応援する」ことを大きな柱として活動を続けてきました。2021年度におきましても、コロナ禍に負けず、できる限りの取組みに努力して参ります。

一年でした。
再確認できた
助け合いの原点を
が返ってくる。
ありがとうございます
の気持ちに、
ありがとうございます

令和3年4月

NPO法人
次世代の子カラFUKUOKA

代表 にいむら 新村 まさる 優



INDEX / 主な活動紹介



ランドセルバンク
による入学支援



児童養護施設等の
子どもたちへの支援



ミャンマー・カンボジア
孤児院の子どもたち支援



お絵かき大会イベント
ドリームプロジェクト



ドライブスルーふくおか
による医療従事者応援



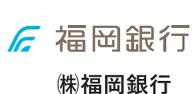
地元プロスポーツを
盛り上げる取組み

福岡とアジアの子どもたちの将来を応援するヒーロー企業

2020年度も、多くの企業・団体協賛により活動を支援いただきました。



株式会社 ふくや



株式会社 福岡銀行



株式会社 新出光



英進館(株)



株式会社 大賀薬局



株式会社 サニクリーン九州



株式会社 ケアリング

アトモスダイニング(株) / 医療法人 あんのうらクリニック / (株)駅前不動産ホールディングス / (株)海協リライアンス / (株)環境開発九州エーステート(株) / (株)クックチャムプラスシー / 医療法人 恵光会 原病院 / 医療法人 光川会 福岡脳神経外科病院 / 医療法人 光竹会 ごう脳神経外科クリニック / 社会保険労務士法人 COMMITMENT / (株)シーアンドイー / (株)島田電気商会 / 医療法人 仁慈会 西原歯科 / 創ネット(株) / 太平洋貿易(株) / 税理士法人 西方会計 / 日商保険コンサルティング(株) / (株)ハッピートラベル / 肉のヒサダヤ / 福岡クリーン産業(株) / 福岡リパティライオンズクラブ / ふくよかケアプラザ大平寺 / ふくよかケアプラザ大名 / 毎日リビング(株) / (株)みずほ不動産鑑定所 / (株)みらいメディクス / 明倫国際法律事務所 / (株)メディカルブレイン / (株)百田工務店 / (株)リバーシーン物流 (50音順)

ランドセルのバトンタッチで、繋がる笑顔。

— 幸せのランドセルバンク プロジェクト —



ランドセルバンクとは…



まだ十分に使えるようなランドセルを磨き上げて、それを必要とする入学前の児童に届けるプロジェクトです。このランドセル支援が、児童たちの笑顔をつくり、多くのご家庭にとって少しでも支えとなる取組みにできればと願っています。

支援が必要な家庭に関するデータの紹介 (福岡市統計)

小学生児童を育てるご家庭のうち、**生活保護・就学援助世帯は、どれくらい?**
生活保護対象: 全児童の約**2%** (1,657人)
就学援助対象: 全児童の**21.7%** (17,717人)
※平成30年4月参照

小学生の...**4人に1人**が支援の対象という厳しい現実があります!



全国各地から、たくさんの支援が寄せられました。

2021年1月からスタートしたこの取組みですが、数ヶ月ほどの呼びかけの間に、300個を超えるランドセルが私たちのもとに届きました!どれも大切な思い出の詰まったランドセルたちです。私たちも、心を込めて磨き上げています。



支
援
が
る、
の
輪。

新たな命を吹き込まれた 幸せランドセル

これまでに28個の「幸せランドセル」が、入学児童たちの背中に旅立っていきました (R3.6月末現在)。これから先、子どもたちが小学校生活で積み重ねていく思い出を見守ってくれることでしょう。



これからの、ランドセルバンク...

この取組みを、息の長い支援活動に育てていきたいと思っています。今回、短期間にもかかわらず、多くのご家庭から寄贈を受けることができました。今後の課題は、このランドセル支援を必要とされるご家庭に、中古ランドセルの無償提供の機会を知っていただき、ひとつでも多くのご家庭の支えとなっていくことです。



親子が笑顔になれる演出

ランドセルバンク、もう1ひとつのコンセプト。
気軽に入りやすく、親子でランドセル選びを楽しんでいた
だけの場所づくりでした。これを実現させてくれたのが、
「アトリエ&カフェ STAND POINT (博多区美野島)」です。

アトリエ&カフェ STAND POINT
福岡県福岡市博多区美野島2丁目6-3
協力: スペクトラムアンドパートナーズ株式会社



▲本物のランドセルショップの様な展示

▲笑顔で接してくれるボランティアスタッフ



▲開放的で入りやすい雰囲気



▲困窮家庭の入学準備支援

皆さん、ご存知ですか? 児童養護施設での暮らし。

— 児童養護施設等で暮らす子どもたちへのエール —



福岡市内にも、様々な理由で親と一緒に暮らすことができず、施設で集団養育を受ける子どもたちがいます。たださえ、ストレスや心の悩みを抱えやすい子どもたちです。楽しみにしていた数々の施設行事の中止は、彼らから笑顔を奪ってしまいました。

この一年、「コロナ禍にも、笑顔を。」を合言葉に、子どもたちへの支援の心を寄せてくださる協力企業・団体と一緒に活動してきました。



2020年5月 お菓子やジュースを届けて、笑顔を取り戻そう大作戦!

1回目の緊急事態宣言下、多くの子どもたちが塞ぎ込んでいると施設からSOSの知らせが届きました。新生堂薬局さんのご協力の下、4tトラック一杯に積まれたお菓子やジュースなどの食料品を、①和白青松園 ②福岡育児院 ③福岡子供の家の3施設に届けて回ることができました。これには、施設の子どもたちも、職員の先生方も喜んでくださいました。



無償でたくさんのお菓子やジュースを提供くださった太っ腹社長。(新生堂薬局/水田さん)

この日、医療従事者皆さんにエールを送ろうと福岡赤十字病院へも、新生堂薬局/水田社長と一緒に訪問し、様々な食料品をお届けしました。



病院を代表して、中房院長へ贈呈の様子



奥の段ボールは、全てお届けしたお菓子類 (福岡育児院)



松崎施設長が水田社長からお菓子類を受け取る様子 (福岡子供の家)



施設内で寄贈食料品を荷卸して並べる様子 (和白青松園)



水田社長と一緒にトラックからお菓子類を運び出す様子

2020年6月 BBQのかわりに、豪華肉弁当を 楽しんでもらおう大作戦!

鹿児島県の黒毛和牛生産者/中山牧場さんよりブランド和牛を提供いただき、この後の頁で登場する「ドライブスルーふくおか」の皆さんの皆さんと一緒に、和白青松園の子どもたちに喜んでもらおうと、ブランド和牛特牲弁当を差入れました。



「宮崎宮迎賓館ラ・セゾン」さんと「懐石サロン我浄」さん 代表して酒瀬川園長が心を込めて料理してくれた特牲弁当は、子どもたちから贈呈する様子も大人気だったそうです。

コロナ禍にも、笑顔を。

2020年10月 ハロウィンプレゼントの サプライズ大作戦!

南区若久にある「若久緑園」は、障がいがある児童たち40人ほどが一緒に暮らしている養育施設です。子どもたちが楽しみにしている季節行事に花を添えようと、福岡リパティ LC の皆さんと一緒に「お菓子セット」をお配りしました。

ハロウィン企画を喜んでもらおうと、お菓子の詰め合わせセットを用意



代表して中村施設長と福岡リパティLC皆さんと一緒に訪問 子ども2人にお渡し

2020年12月 手打ちの年越しそばで、新年を迎えてもらおう大作戦!

お蕎麦屋さんの経験を持つ地域の方から、「施設の子どもたちに年越しそばを振る舞いたい」という申し出をいただきました。感染対策の為、子どもたちの目の前で調理は断念しましたが、特製つゆと一緒に打ち立て蕎麦をお届けして、美味しく新年を迎えてもらいました。



1食ごとに丁寧に準備された手打ち蕎麦 男の子たちが大盛りざる蕎麦を食べる様子 本格的なお蕎麦屋さんの味に喜ぶ様子

2021年2月 ケーキをお腹いっぱい 食べてもいい日をつくろう大作戦!

コンビニに並んでいるようなケーキやスイーツを約2,000食分、「九州プレスサービス」さんから提供いただきました。それらを①和白青松園 ②福岡育児院 ③若久緑園、3つの施設の子どもたちと職員さんのもとへプレゼントして回りました。



冷蔵室からケーキを運び出す様子 (右が九州プレスサービス/戸崎社長) 普段はコンビニやスーパーに並ぶスイーツ類 子どもたちはスイーツにテンションMAX! 手書きの御礼を添えて「寄書き」が届きました。

コロナ禍で渡訪できないミャンマーとカンボジア。どうすれば、孤児院の子どもたちの「明日」を守れるか。

— 未来に繋ぐスマイルマスクプロジェクト —

これまで私たちは、ミャンマーやカンボジアを何度も訪問し、孤児院の子どもたちと交流しながら僅かばかりの支援を続けてきました。平時でさえ困窮する暮らしが続く彼らを、コロナ禍は凄惨な環境に追い詰めました。社会保障の枠組みがあるはずもなく、彼らは真っ先に社会から切り捨てられてしまう立場です。



カンボジアのSFODA孤児院
(2019年8月訪問時)



ミャンマーのヤタナボン寺院孤児院
(2019年8月訪問時)

未来に繋ぐ「スマイルマスク」プロジェクトを始動。

コロナ禍でも継続した支援が届けられるよう、「手づくりマスク」の販売企画をスタートさせました。現地孤児院の上級生たちや学生のみんにマスクを手作りしてもらい、それを福岡で販売して、その収益を全て孤児院での食糧や生活物資に充ててもらおうと考え出したスマイルマスクプロジェクトです。商品開発から販売に至るまで、新生堂薬局さんに全面協力をいただきました。



(株)新生堂薬局との共同プロジェクト

製品開発



両国の生地サンプルを新生堂薬局本社で選定する様子



実際に発売された「未来に繋ぐスマイルマスク」

マスク製作



マスクが出来上がっていく様子に笑顔をつくる子どもたち(ミャンマー)



誰が上手に作れるか、みんなで少しずつ上達しました(カンボジア)



スマイルマスクに希望を乗せて、みんなで指ハート(ミャンマー)



発売開始前のセレモニー時の様子

「明日」を繋ぐ支援と、深まる絆。

2020年6月から打合せを重ね、スマイルマスクは10月末に発売開始を迎えました。TVや新聞の影響もあり、発売当初は特に多くの皆さんに購入協力いただきました。それらの収益を活用して、この間、両国現地の孤児院へ支援を行ってきました。2021年1月には、福岡・ヤンゴン・プノンペン、3つの都市がオンラインで繋がり、交流イベントを実施することができました。



プロジェクトによる支援物資(主に米や生活必需品・学習品など)



同時中継で福岡・ヤンゴン・プノンペンが繋がりました!



リモート中継の画面を真剣に見つめる子どもたち(ミャンマー)



リモート中継の画面を見つめる子どもたち(カンボジア)



届いた支援物資を使って早速のお昼ご飯!(カンボジア)



大盛りご飯をいただきます! 1人ずつ受取る様子(ミャンマー)



Tシャツや文房具をいただきます! 1人ずつ受取る様子(ミャンマー)

異国の、幼い友人たち。

ミャンマー・カンボジア両国内では、縫製産業がとて盛んです。今回の手づくりマスクの縫製に使用するだけでなく、将来の職業訓練にも役立ててもらおうと、業務用ミシン(日本製)をそれぞれ6台ずつ寄贈しました。



寄贈したJUKI製ミシン(ミャンマー)



寄贈したbrother製ミシン(カンボジア)

未来に繋ぐスマイルマスク - 法人様向け販売のお知らせ -

〈未来に繋ぐスマイルマスク〉
税込880円(1セット:2枚入)

使用している生地 無地:ミャンマーのロンジー生地
柄物:カンボジアのクロマー生地

※生地はそれぞれ、両国の伝統生地の上質コットンを使用しております。

- 10セット単位のおまとめ販売を実施しております。
- 詳しくは、fukuoka@jisedainochikara.jpまでお問い合わせください。
- 商品カラーは上記写真と同様のものに限りさせていただきます。

絵に込めた将来の夢は、必ず「明日」のチカラになる。

— お絵かき大会イベント・孤児院ドリームプロジェクト —

ミャンマー・カンボジアの孤児院各所で、自分の将来の夢について話し合い、それを絵として描き上げる特別授業を企画しました。これらの絵を1枚でも多く、福岡の応援者皆さまのもとへ届けることができればと思っています。

想いを込めて、将来の夢を描きました!



カンボジアでは、「SFODA 孤児院」と「NFC 孤児院」で実施しました。



ミャンマーでは、「ヤタナボン寺院孤児院」と「タンリン尼寺孤児院」で実施しました。



夢:看護師 夢:宇宙飛行士 夢:レストランのシェフ



夢:学校の先生 夢:サッカー選手



子どもたちが描いた絵は、海を越えて福岡へ。

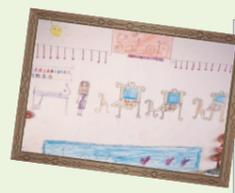
生きる「今日」と、夢みる「明日」。

絵のレンタルハート事業を始めます。

収益の全てを、ミャンマーとカンボジアの孤児院施設の食糧や生活物資など、子どもたちの「明日」を支えるための費用に充てさせていただきます。

オフィスや店舗・施設内に、彼ら・彼女たちが懸命に描いた「将来への約束」を飾ってあげてください。

- ◎月額900円〜(税抜)
- ◎絵のサイズ:A3
- ◎毎年、現地の子どもの様子を報告資料でお伝え致します。
- ◎お問合せ先:fukuoka@jisedainochikara.jp



ありがとう。

内戦の様相を見せるミャンマー

子どもたちを苦しめるのは、コロナ禍だけではありません。2/1政変以降、ヤンゴンをはじめミャンマー国内では戦火が上がり続けています。この間、一緒に活動を続けてくださっている現地仲間の皆さんも、自身の命を守ることが最優先です。子どもたちの絵がミャンマーから福岡へ届く日を祈りながら待ちたいと思います。



ミャンマー現地からいつも協力をしていただいているビョウさん(左)、オンマーさん(中)、サンサンミンさん(右)



集落に隣接するゴミ山に立つ女の子(ヤンゴン近郊)

「ドライブスルーふくおか」は、こうして立ち上がった。

— ドライブスルーふくおかの取組み — ※協力事業



2020年4/28 (火) PM 「はじまり」

コロナ禍による初めての緊急事態宣言中、社会・経済は立ち往生。来店型の店舗や施設の多くが営業停止に追い込まれました。この日、数名で打ち合わせをしていた際に、他県での飲食店支援の事例が話題に上がりました。「他県でできるのなら、福岡でもできる!」とその場で、飲食店自慢のお弁当を感染の心配なく購入できるドライブスルーイベントの開催が決まりました。早速、店を閉めて売上が立たない飲食店経営者皆さんに連絡を取り、参加を呼びかけました。

4/29 (水祝) AM 「キックオフ」

イベント開催を決断して、その翌朝には、主旨に賛同くださった飲食企業の代表者の面々が勢ぞろいしてキックオフ。開催までに準備すべき項目を洗い出し、役割分担しながら一斉に動き出しました。まず早々に、中村学園大学様より会場をご提供いただき、続いて、弁当保管用の保冷車、HP・SNSなどによるIT広報体制、団体ロゴやイメージソング、事前予約やモバイル決済のためのオーダーシステム、スタッフTシャツ、PV動画製作、当日会場での資機材など、各方面からの無償の協力体制が次々に整っていきました。

5/4 (月) PM 「開催前日」

出店企業や豪華な弁当ラインナップが決まり、開催前日のリハーサルでは、お客様の誘導動線やお弁当の受渡し場所・方法などを確認し合いながら、当日の配置人員を決めていきました。



5/5 (火祝) 「開幕初日」

キックオフの日から6日後、いよいよ開幕初日を迎えました。午前10:50、大学正門の開門と同時に、最初のお客様がご来場され、瞬間に学校敷地内がお弁当を求める車で埋まりました。開催初日、大きな賑わいを見せた会場では、早々に「完売宣言」を出すことができました。

参加飲食店舗のスタッフ皆さんの目には涙が溢れていました。コロナ禍で絶望の淵に立たされた飲食店ですが、足を運んでくださった多くのお客様の笑顔を目の当たりにして、「客商売をする喜びの原点を思い出させてくれた」と興奮ながらに語り合う姿がありました。



開催当日のメニュー表

5/5 (火祝) ~5/31 (日) 「開催期間」

プロジェクトがスタートしてから約1ヶ月、私たちの矜持は、開催を1回で終わらせることなく、活動を継続できたことです。急速、1ヶ月前に集まった私たちは、感動も苦勞も分かち合ってきたチームとなりました。



▲「ドライブスルーふくおか」団体代表の竹下さん (クックチャムプラシー)



▲病室から、絶えずチームの頭脳として支えてくれた黒川さん



▲弁当在庫全てに対して買取協力をいただいた古賀さん (飛鳥会館)

土日を中心に計10回の開催
★ご来場台数: 3,787台
★弁当販売個数: 1万5,034食
★売上: 1,613万9,400円 ★出店飲食企業: 38社

助け合いから生まれた、一生ものの絆。

私たちに勇気を与えてくれるプロスポーツがある幸せ。

— 地元のプロスポーツ支援 — ※協力事業

1. プロスポーツチームへの「1,000人応援動画」

第1回目の緊急事態宣言時は、市民に活力と勇気を与えてくれるプロスポーツも完全にストップしました。遅れての開幕となったプロ野球も、当面は無観客開催となり、ファンの声援から距離を置く中で、選手の皆さんは、感染リスクと闘いながらプレーすることになりました。

地元福岡のプロスポーツ選手皆さんに、感謝と応援の声を届けたいと考え、ドライブスルーイベントの最終週2日間(5/30・5/31)、来場者全てに「応援メッセージ」を呼びかけました。2日間で1,000人を超える声援を集めることができ、それを「1,000人応援動画」として各チームへ贈呈しました。日常にプロスポーツがあることへの有難みや、選手皆さんの頑張りへの感謝を実感したコロナ禍でした。



「1,000人応援動画」をお届けした地元プロスポーツチーム



福岡ソフトバンクホークス アビスパ福岡 ライジングゼファー福岡 九州プロレス

2. プロバスケット選手とのコラボ弁当企画 & 看護学生応援



「ドライブスルーふくおか」とライジングゼファー福岡とのタイアップ企画として、選手オリジナル弁当を会場で販売して、コロナ禍でも来場者皆さんに楽しんでいただくための取組みを実施しました。シーズンを通して、協力飲食企業の力をお借りして、12種類の弁当を提供させていただきました。



試合会場で行った販売ボランティア 医療従事者支援を会場皆さんと一緒に



飲食企業と選手、弁当開発の様子 選手コラボ弁当イベントのキックオフ

ライジング選手の皆さんと一緒に、医療機関・看護学校へ選手弁当やチームグッズを持参して、激励訪問を企画しました。



選手から看護学生・医療従事者へ弁当寄贈 激励訪問時、看護学生との6種類の選手弁当を記念写真 楽しそうに選ぶ様子

1枚の「絵」との出会い

2021年度チャレンジ!

コロナ禍の1年を振り返ると、2020年度は、例年にも増して多くの皆さんと一緒に取組ませてもらった1年だったと思います。ここでは、2021年度から新たに実施する取組みを紹介させていただきます。

今年度は、小児がんと懸命に闘う子どもたちとご家族を応援する取組みを始める予定です。少しでも支えになりたいと心に決めたまっかけは、ある1枚の絵との出会いです。その絵のタイトルは「ラジオ体操」と記され、急性リンパ性白血病を患う5歳の男の子が描いたものでした。

小児がんの子どもと家族が抱える悩みや負担

- ①長期にわたる入院・通院生活
- ②治療後の再発や合併症
- ③家族の心身疲労と経済的負担
- ④小児がんへの周囲の理解不足



絵の題名: ラジオ体操

4歳上のお兄ちゃんのすることは何でもやりたがり、小さな頃から夏休みのラジオ体操と一緒にしていました。これは6ヶ月の化学療法を終えた8月、久しぶりに家族そろってラジオ体操をした時の絵です。薬と放射線で髪の毛はありませんでしたが、「まあくんのかみのけ、かいてもいいかな」とつぶやき、自分の絵にそって髪の毛を描いていました。いつも明るく振る舞っていましたが、やはり気にしていたのです。ね。雅貴との思い出は、これから家族の宝物です。



編集後記

2020年度は沢山の取材を受けた1年でした。TVや新聞などのメディアで、私たちの取組みを紹介・報道いただきました。NPO活動をいつも応援くださっている皆様に、一部を紹介させていただきます。



RKB毎日放送：ソコトラ 2021.2.5放送



TNCテレビ西日本：ももち浜S特報ライブ 2021.5.20放送



TBSテレビ：news23 2021.3.29放送



TVQ九州放送：ふくサテ！ 2020.10.22放送



KBC九州朝日放送：シリタカ！ 2020.10.21放送



RKB毎日放送：タダイマ 2021.2.12放送



RKB毎日放送：タダイマ 2021.2.5放送



J:COM×KBC：ケーブルニュース 2020.11.18放送



RKB毎日放送：今日感テレビ 2020.5.26放送



NHK福岡放送局：ロクいち！福岡 2020.6.5放送



毎日新聞：2021.3.15記事



毎日新聞：2020.5.15記事

協賛企業を募集しております。

私たちの活動は、協賛企業の皆様からの支援のおかげで続けることができます。毎年度、応援いただける企業様を募集しております。

また、私たちと一緒に、社会貢献事業や支援活動を実施くださるCSRパートナー企業様も募集しています。

お問い合わせ先 fukuoka@jisedainochikara.jp

NPO法人
次世代のチカラFUKUOKA

代表 **新村 優**

2020年度 NPO活動収支報告

【収入】 収入計 ……………	207万8,250円
■事業収入……………	29万8,250円
■協賛収入……………	178万円
【支出】 支出計 ……………	354万3,820円
■事業活動費計……………	219万7,161円
・事業費等……………	185万6,551円
・活動旅費等……………	34万610円
■事業運営費計……………	134万6,659円
・文書通信郵送費等……………	52万4,181円
・車両関係費等……………	77万7,000円
・事務諸経費……………	4万5,478円
次年度繰越額……………	- 849万6,841円



NPO法人 次世代のチカラ FUKUOKA

〒810-0041 福岡市中央区大名2丁目1-35-4F(スペクトラムアンドパートナーズ株式会社 事務所内)
TEL (092) 722-2588 FAX (092) 722-2589 E-mail fukuoka@jisedainochikara.jp

公式ホームページは検索もしくはQRコードからご覧いただけます。

[次世代のチカラ](#) [検索](#)

<http://jisedainochikara.jp/index.html>

